

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
163	交通安全対策経費	会計	01	一般会計	
		款	02	総務費	
12	犯罪や交通事故を未然に防ぐ	項	01	総務管理費	
		目	15	交通安全対策費	
		細目	101	交通安全対策経費	
		細々目	01	交通安全対策経費	
担当部課名	市民生活課				
作成者氏名	坂口孝一	22-9638			

事業の計画・内容

対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)				
伊賀市住民 交通事故の被害者及び加害者 の目的	交通安全に対する意識、マナーについての啓発を進めること、また、高齢者等に対して交通安全教室を開くことなどにより交通事故を未然に防ぐことにつながる。 駅前等の放置自転車撤去、交通危険箇所の確認をし整備改修を進めることにより交通事故を未然に防ぎ、歩行者・交通弱者の安全を図ることができる。				
<p>本年全国交通安全運動、交通安全県民運動期間にあわせ街頭啓発・啓発用チラシの配布・回覧等啓発運動の実施。                  年度伊賀市交通安全実践教室を高齢者を対象に実施。                  市内新入学児童に対し、交通安全雨傘を配布し、啓発を行う。                  毎月1回交通事故相談を実施。                  業放置自転車対策として上野丸之内、伊賀神戸駅、伊賀上野駅、青山駅前上津駅前自転車等駐輪場の管理運営業務として放置自転車に対する内啓発・撤去・保管・返還業務を実施。(シルバー人材センターに委託)                  容チャイルドシート購入費補助事業(17年度で終了、18年度は全年度購入済分に対しての暫定期間)</p>					
開始年度	平成 16 年度	終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等	伊賀市放置自転車に関する条例

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.4	0.4	0.4
人件費合計(A)	2,880	2,880	2,880
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	4,688	4,217	4,217
委託料	2,085	2,324	2,324
使用料賃借料	1,063	1,061	1,061
需用費	641	593	593
その他	899	239	239
合計(A+B)	7,568	7,097	7,097
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財	20	10	10
一般財源	7,548	7,087	7,087
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
放置自転車撤去台数	台	202	150	150			
交通事故相談件数	件	18	18	18			
交通安全実践教室参加者数	人	50	50	55			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
高齢者による交通事故件数割合	交通事故件数全体における高齢者による事故の割合	%	22 目標 ( )	21	20
			目標 ( )		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

人口における高齢者の割合が増えると共に、高齢者がかかわる交通事故の件数は年々増加している傾向にある。さらなる啓発活動の強化、交通安全実践教室への参加呼びかけが必要となってくるが、今後は、地区(住民自治協議会)による高齢者・児童等交通弱者への安全確保への啓発・実践活動の充実を行政・警察等関係団体との連携により強めていく必要がある。  
交通安全の実現、放置自転車を無くす事などは各人の意識の高さやモラルによるものであることから、広報・啓発のさらなる強化が必要である。

評価	必要性	4	より効果的な啓発方法の検討が必要。	総合評価
	有効性	3		
	達成度	3		
	効率性	4		
				A